

滋賀県について

日本の中央部に位置し、豊かな自然が魅力です。県土の約6分の1を日本最大の湖「琵琶湖」が占めており、琵琶湖を除く残りの面積半分が鈴鹿山などを含んだ多くの山地や森林帯となっています。

また、滋賀県は古くから陸上交通の重要な地点として、文化・経済が先進的に栄えてきました。そのため、全国で活躍した近江商人の本拠地や、多くの戦乱の舞台となりました。神社仏閣やお城など、歴史的建造物が今なお大切に受け継がれています。そんな自然と歴史が交差した滋賀県ならではのスポットが多数存在しています。

東近江市について

滋賀県の南東部に位置し、東に鈴鹿山、西に琵琶湖、市域中央には愛知川が流れており、滋賀県の自然を凝縮したような地域です。愛知川の流域はほとんどが市域となっているため、水辺の土地ならではの文化も残されています。

また、市域内には日本の歴史にまつわる貴重な場所が現在にも数多く残っています。古墳や歴史的建造物の他にも、歴史人物として有名な聖徳太子にまつわる伝承が日本で一番多い場所とも言われています。



永源寺について

臨済宗・黄檗宗15派の本山のひとつ、永源寺派の大本山で、全国に127の末寺を擁し、坐禅研鑽と天下安全を祈願する古道場です。

寂室元光禅師(じゃくしつげんこうぜんじ)を開山に迎え、伽藍(がらん)を建立したのが始まりです。

その後も永源寺には高僧が集まり、佐々木氏の庇護のもと、盛時には2000人もの修行僧を擁したといいます。

参道や山門などを包む紅葉をはじめとする自然の数々は、近江随一の美しさを誇り、全山で鮮やかな自然を満喫できます。

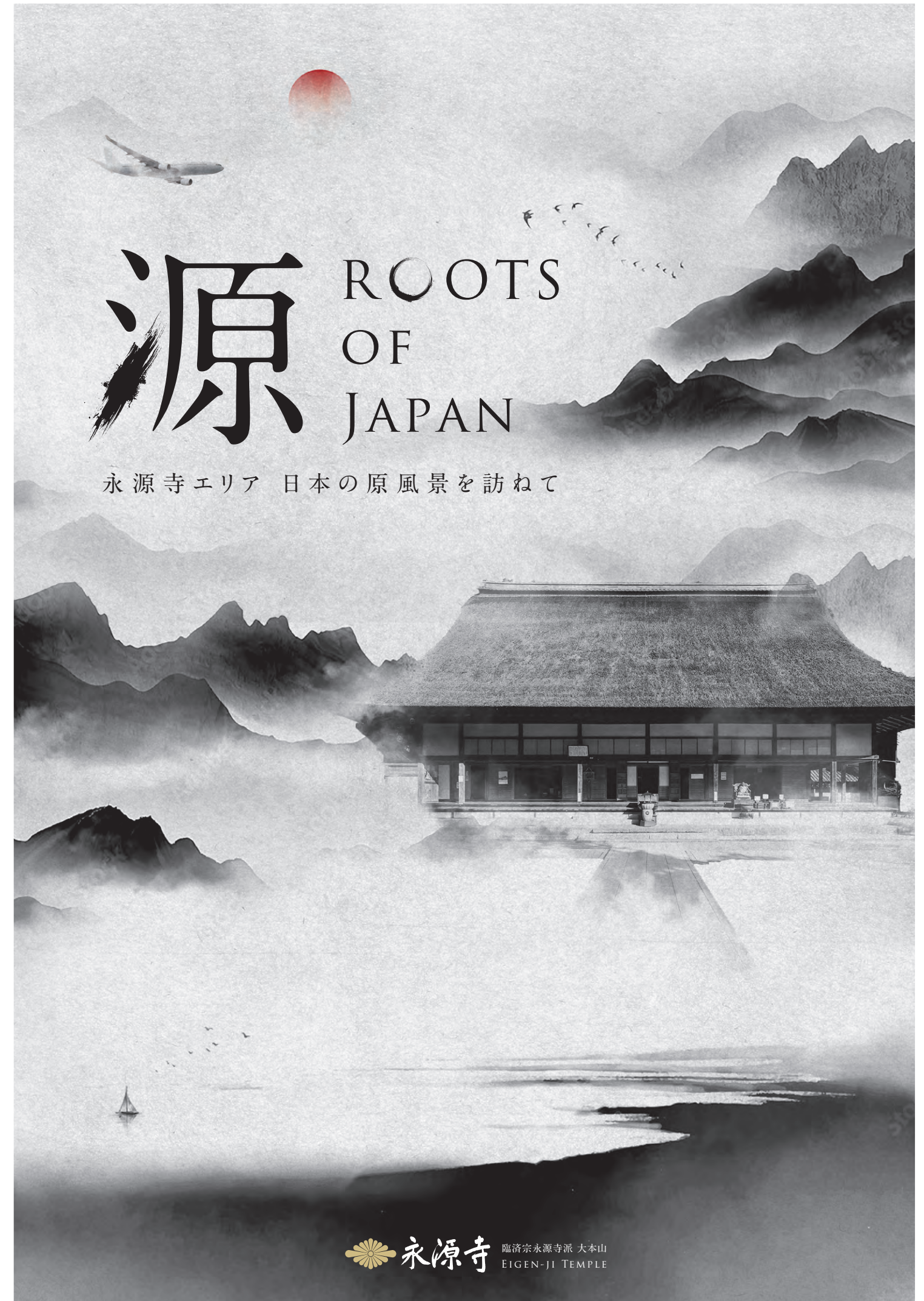
日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」の構成文化財として認定されています。



臨済宗永源寺派 大本山
EIGEN-JI TEMPLE

臨済宗永源寺派 大本山 永源寺
〒527-0212 滋賀県東近江市永源寺高野町41

<お問い合わせ>一般社団法人東近江市観光協会
Tel:0748-29-3920 Mail:info@higashiomi.net



永源寺 臨済宗永源寺派 大本山
EIGEN-JI TEMPLE



源 ROOTS OF JAPAN

永源寺エリア 日本の原風景を訪ねて

滋賀県東近江市に位置する永源寺は、臨済宗永源寺派の大本山であり、古くから多くの人々より篤い信仰を集めています。

紅葉はもちろん、新緑など、永源寺を彩る四季を通じた多彩な自然美や、永源寺の傍を流れ、琵琶湖の源流である「愛知川(えちがわ)」、あるいは、室町時代から栽培法を変えず在来茶のあり方を伝える政所茶など。

ここかしこに感じるのは、日本本来の原風景。

今回、この滋賀・永源寺エリアだからこぞお届けのできる

さまざまな体験・プログラムをご用意いたしました。

どうぞ、日本のルーツを、ぜひ滋賀・永源寺エリアで感じてください。

永源寺周辺で体験できること

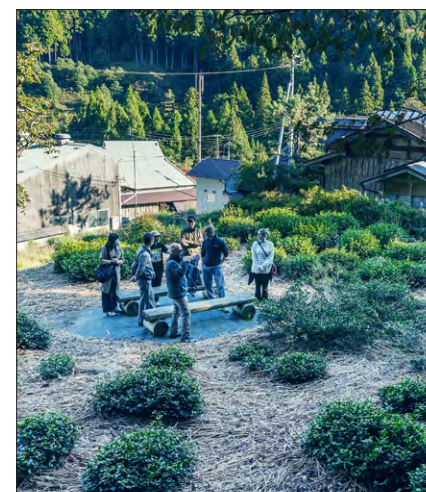


坐禅体験

坐禅の歴史は非常に古く、仏教の開祖であるお釈迦さまの修行から始まったと伝えられています。姿勢を正して座り、精神を統一させる仏教の修行方法である坐禅を通し、自分と向き合う時間を永源寺で。坐禅についての説明や作法は、僧侶から丁寧に説明いただけるので、はじめて坐禅を体験される方も、安心してご参加ください。

spec


-  所要時間
1時間程度
-  予約可能人数
4人～15人
-  開催期間
4月～7月・
9月～10月



政所茶

政所茶は室町時代から六百年以上栽培され、親しまれてきた歴史の古い銘茶です。始まりは、永源寺第五世 越溪秀格禅師が、政所の地周辺はお茶の栽培に適しているとしてお茶を伝え、栽培を奨励したことだと言われています。現在もこの地で育ち続けている在来種の樹でも栽培を続けており、中には三百年以上生き続けている樹も存在しています。昔ながらの栽培方法を守り、完全有機・無農薬栽培。すっきりとした味わいが特徴です。

spec


-  所要時間
2時間程度
-  予約可能人数
4人～12人
-  開催期間
4月～7月・
9月～10月



精進料理

精進料理とは、殺生や煩惱への刺激を避けた料理のことをい、仏教における修行のための料理です。料理の食材には、野菜類・穀類・海藻類・豆類・木の実・果実などの「精進物」のみを使用することが特徴です。このプログラムでは、滋賀県出身の有名調理人が、精進料理をより楽しんでいただけるよう、現代風にアレンジしており、永源寺地域・政所の地で育つ幻の銘茶「政所茶」を使用した茶粥などをお楽しみいただけます。

spec


-  所要時間
1時間程度
-  予約可能人数
4人～15人
-  開催期間
4月～7月・
9月～10月



煎茶道

煎茶道とは、日本の伝統文化、「茶道」の一種です。煎茶道は、主に煎茶という種類の茶葉を用いて、急須でお湯を煮だし、お茶を淹れるお点前をします。江戸時代中期に売茶翁という禅僧の出現により、形にとらわれない茶道として見出され、上流階級に限らず庶民にまで広まりました。売茶翁の「一碗のお茶をより美味しく、より楽し(味わう)ように。そしてそのお茶を通じてお互いの心を大切に。」という言葉こそが煎茶道の理念です。

spec

-  所要時間
1時間程度
-  予約可能人数
5人～20人
-  開催期間
4月～7月・
9月～10月

※不定開催

